

レセ電ビューアマニュアル

日医標準レセプトソフト
ORCA

平成21年 1月
(第5版)

社団法人 日本医師会

更新履歴

2007年	1月31日	初版
2007年	12月21日	2版
2008年	4月28日	3版
2008年	6月17日	4版
2009年	1月8日	5版

目 次

第1章 インストールと基本設定	
1. 1 パッケージ構成	4
1. 2 インストール先	5
1. 3 必要なパッケージ	5
1. 4 jma-receview のインストール	6
1. 5 マスタについて	7
1. 6 操作コマンド	8
第2章 操作説明	9
2. 1 業務メニュー	10
2. 2 種別点数情報ビュー	23
2. 3 医療機関, 患者情報ビュー	26
2. 4 レセ電コードビュー	33
2. 5 その他	34

第1章 インストールと基本設定

1.1 パッケージ構成

・ jma-receview.deb - クライアント

実行スクリプト

 jma-receview

ライブラリ

 dbslib.rb

 hokenconv.rb

 dayconv.rb

 intconv.rb

 strconv.rb

 orcagd.rb

 localdb.rb

アイコン

 jma-receview-icon.png

 jma-receview-icon-48.png

Gnome メニュー定義ファイル

 jma-receview.desktop

・ jma-receview-server.deb - サーバ

定義ファイル

 directory

 jmarvs.dbd

 shell.dbd

 shell.db

 tbl_tensu.db

 tbl_byomei.db

 tbl_hknjainf.db

 tbl_hknjainf_35.db

 tbl_tensu_35.db

 tbl_syskanri_35.db

 tbl_dbkanri.db

1. 2 インストール先

- ・クライアント

/usr/bin/

/usr/lib/ruby/1.8/jma/receview/

/usr/share/pixmaps/

/usr/share/gnome/apps/Applications/

- ・サーバ

/usr/lib/jma-receview/

1. 3 必要なパッケージ

Sarge 版

jma-receview 0.0.5-0+2jma1

jma-receview-server 0.0.5-0+2jma1

libgtk2-ruby 0.12.0-2

Etch 版

jma-receview 0.0.5-0+3jma1

jma-receview-server 0.0.5-0+3jma1

libgtk2-ruby 0.15.0-1

1. 4 jma-receview のインストール

apt-line は以下となります。

Sarge

```
deb ftp://ftp.orca.med.or.jp/pub/debian sarge4.3 jma
jma-receview 0.0.5-0+2jma1
jma-receview-server 0.0.5-0+2jma1
```

Etch

```
deb ftp://ftp.orca.med.or.jp/pub/debian etch4.3 jma
jma-receview 0.0.5-0+3jma1
jma-receview-server 0.0.5-0+3jma1
```

インストールコマンド (root 権限で行います)

```
# aptitude install jma-receview
```

※依存関係により必要なパッケージも同時にインストールされます。

サーバパッケージ[jma-receview-server]も必要になります。

複数台に jma-receview パッケージを入れる場合には、サーバパッケージは1台だけにインストールする運用も可能です。

```
# aptitude install jma-receview-server
```

※依存関係のためサーバパッケージは日レセがインストールしていない場合、日レセもインストールされます。

jma-receview-server は初期のインストール時に利用するポート番号を要求してきます。

デフォルトでは[9301]になります。ポートを変更した場合は、クライアントの接続先のポートを指定してください。

設定は /etc/default/jma-receview-server に保存されます。

※注意 jma-receview 0.0.5 を利用する場合は、jma-receview-server 0.0.5 以上が必要になります。また、jma-receview-server 0.0.5 は、panda-server 1.4.2 以上(日医標準レセプトソフト Ver4.3)が必要です。

誤ってクライアントのみ(jma-receview)を0.0.5にアップグレードした場合は、一旦 jma-receview 削除し、apt-line の内容を変更し再度インストールする必要があります。

0.0.4 Apt-line

Sarge

```
deb ftp://ftp.orca.med.or.jp/pub/debian sarge4.2 jma
```

Etch

```
deb ftp://ftp.orca.med.or.jp/pub/debian Etch4.2 jma
```

```
# aptitude remove jma-receview
```

```
# vi /etc/apt/sources.list
```

```
# aptitude update
```

```
# aptitude install jma-receview
```

1. 5 マスタについて

ORCA のデータベースにある点数マスタ等を参照し診療行為名称などの表示を行ないますが、マスタが参照できない場合はレセ電コードの表示となります。

1. 6 操作コマンド

レセ電ビューアの実行

```
$ jma-receview
```

レセ電ビューアのバージョン表示

```
$ jma-receview -v
```

```
$ jma-receview --version
```

dbに接続する **panda-server** のサーバ側デーモンの **Version** を指定します。通常はインストールされている **panda-server** の **Version** を自動で取得します。

直接 **Version** を指定する場合は指定してください。

※指定方法については「2. 1. 4 設定」の項を参照してください。

DBの接続設定をしたにもかかわらず、DBにアクセスできない場合は **panda-server** の **Version** があっていないか、**glauth** が正しく動いていない可能性があります。

- ・ **jma-receview-server** は `/usr/lib/panda/sbin/dbs` を利用
- ・ `/usr/lib/panda/sbin/dbs` の **panda-server** の **Version** を指定
- ・ **glauth** が起動されている事の確認は `ps ax | grep glauth` コマンドにて可能です。
- ・ アップグレード時に症状詳記等が正常に表示できない場合は、**jma-receview-server** を管理者権限で再起動してください。

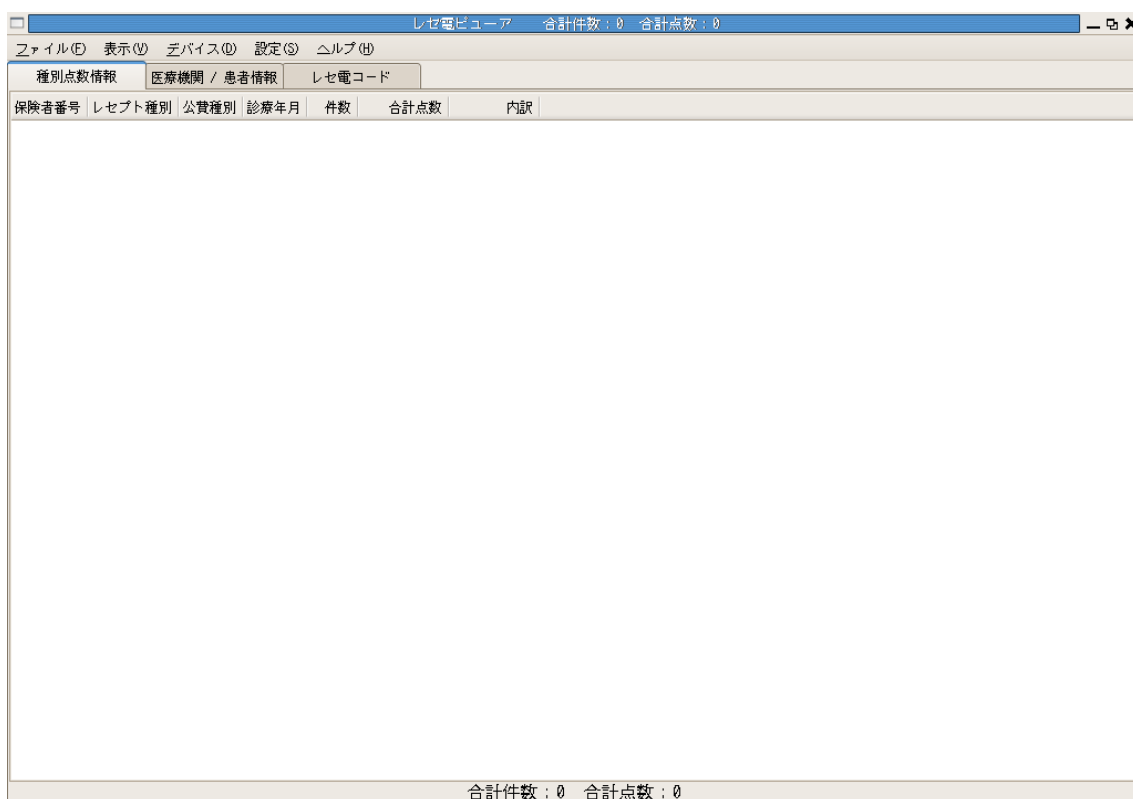
```
# /etc/init.d/jma-receview-server restart
```


第2章 操作説明

レセ電ビューアの実行
コマンド入力画面より

\$ jma-receview

と入力することにより初期画面が表示されます。

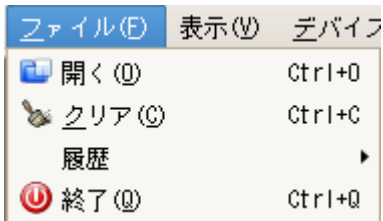


画面構成

- ・ 業務メニュー
- ・ 種別点数情報ビュー
- ・ レセプト種別
- ・ 医療機関, 患者情報ビュー

2. 1 業務メニュー

2. 1. 1 ファイル



・開く (Ctrl + O)

選択された媒体に保存されている、レセ電ファイルを読み込みます。
/floppy を自動でマウントし、読み込み終了後にアンマウントを行いません。
マウント先の /floppy は設定で変更できます。

レセ電ビューアを利用される Linux ユーザで、
マウントできるか確認をしてください。

例 1:

```
$ mount /floppy  
$ umount /floppy
```

例 2:

```
$ mount /media/floppy0  
$ umount /media/floppy0
```

うまくマウントできない場合は、/etc/fstab を確認し、対象デバイス、マウント先のディレクトリが存在することを確認してください。

通常病院、旧総合病院のフォーマットに対応しています。
シングルボリューム、マルチボリュームに対応しています。
マルチボリュームファイルを読み込むと、次の媒体と交換するメッセージが出来ます。
FD より読み込む場合は、ファイルを読み込むまでの間動作していないような表示になります。

- ・ クリア (Ctrl + C)

読み込んだ情報を画面上より削除します。
実際のデータを変更することはありません。

- ・ 履歴

読み込んだファイルパスを保存し、次回起動時に表示します。
ファイル名だけが表示されます。

- ・ 終了 (Ctrl + Q)

レセ電ビューアを終了します。
終了時に DB 設定、フォント設定、ファイル履歴が保存されます。
保存先 ~/.receview/receview.conf

2. 1. 2 表示



・ 検索 (Ctrl + F)

読み込んだレセ電ファイルより、

[名前],[患者番号],[レセプト番号],[傷病名],[医療品],[診療行為],[点数]

[病名なし],[診療年月],[チェック済],[要チェック],[チェック無し]

の項目別で検索を行ないます。

また、検索時の一致パターンは「完全一致」ではなく、「部分一致」となります。



検索例

検索語：1

検索項目：レセプト番号

検索結果：1, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 31, 41, 51, 51, 61, 71, 81, 91...

検索結果で表示された項目は、マウスマウスカーソルで選択すると内容詳細として患者情報ビューに表示されます。

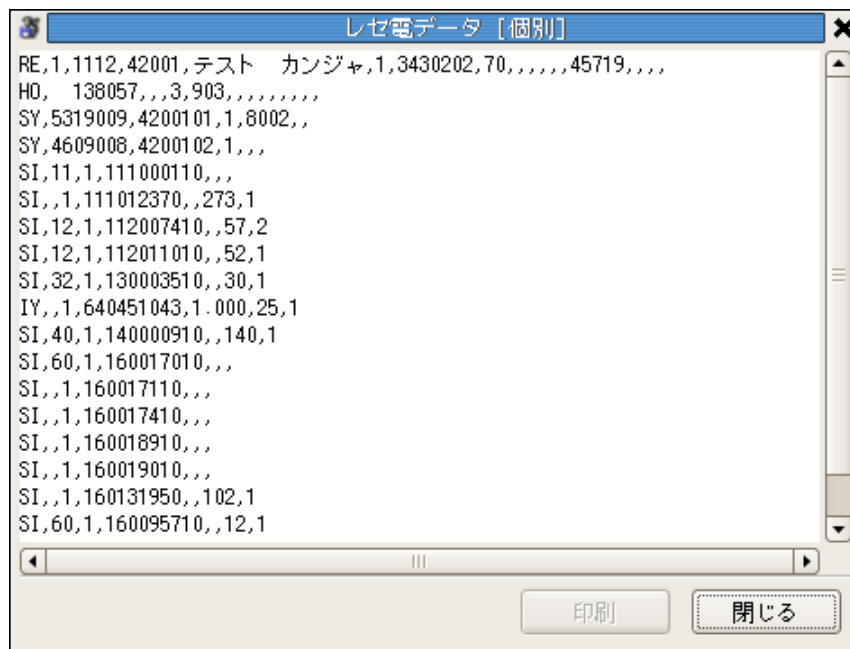
検索の中止

検索中に検索をキャンセルしたい場合は、[中止]ボタンを選択してください。

・ビュー (Ctrl + B)

患者情報ビューのレセ電コードを表示します。

1人分のレセ電コードです。

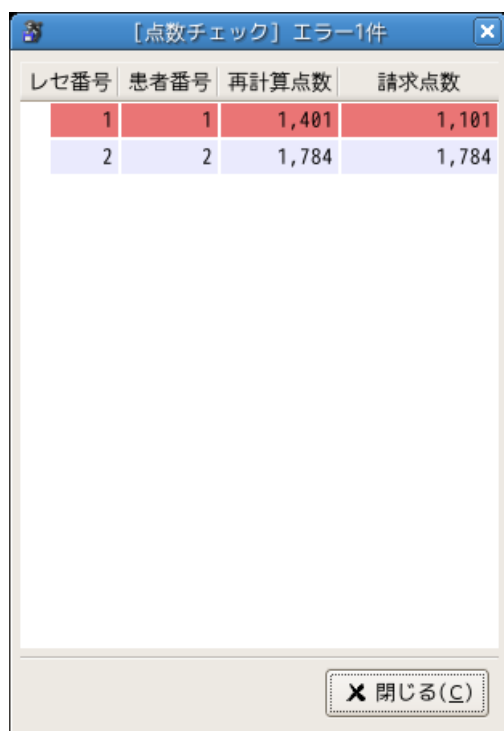


※印刷用のボタンがありますが、利用はできません。

- ・点数チェック (Ctrl + T)

SI, IY, T0 レコードから再計算を行ない、請求データ(HO, KO)と比較します。

再計算時に一致しなかった場合は、表示色を変更して表示します。



レセ番号	患者番号	再計算点数	請求点数
1	1	1,401	1,101
2	2	1,784	1,784

- ・並び替え[名前順] (Ctrl + 1)

医療機関, 患者情報ビューの表示順を替えます。

名前順に、降順昇順の入れ換えをおこないますが、意図したようにならない場合もあります。

- ・並び替え[レセ番号] (Ctrl + 2)

医療機関, 患者情報ビューの表示順を替えます。

レセ番号順に、降順昇順の入れ換えをおこないますが、意図したようにならない場合もあります。

- ・並び替え[チェック状態] (Ctrl + 3)

医療機関, 患者情報ビューの表示順を替えます。

現在のチェック状態(患者を表示した、していない、要チェックマーク)で

降順昇順の入れ換えをおこないますが、意図したようにならない場合もあります。

この並び替え状態で、チェックしていない患者を選択すると、その度に並び替えが行なわれるため再度並び替えが行なわれます。

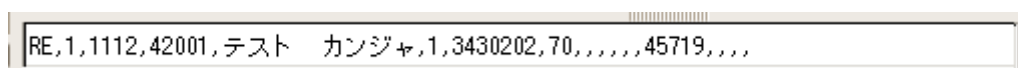
例:チェック患者順に表示している時、画面下の非チェック患者を表示するとその患者データが、画面上に並び替えされる。チェックを解除した場合逆の現象も起こります。

※ 通常はレセ番号の並び順になっています。

・クリップボードへコピー (Ctrl + W)

患者情報ビューの項目をマウス選択した状態で、Ctrl + Wを押下することによりクリップボードへのコピーを行います。

以下に画面右したに表示されるデータがコピーされます。



・キャッシュファイル (Ctrl + R)

レセ電ビューアの処理に使われているキャッシュファイルを表示します。

患者情報等がこのファイルに記録されることはありません。

表示されているファイルを削除することで、患者チェック状態を初期化することができます。

2. 1. 3 デバイス



- ・ Mount (Ctrl + M)

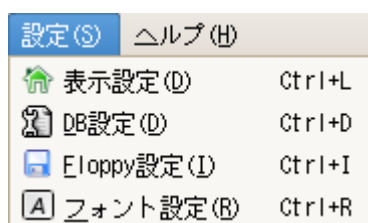
/dev/fd0 を /floopy にマウントし利用できるようにします。

レセ電ファイルを開く前にも自動でマウント、アンマウント処理を行ないます。

- ・ Unmount (Ctrl + U)

/dev/fd0 を /floopy にアンマウントします。

2. 1. 4 設定



- ・表示設定 (Ctrl + L)

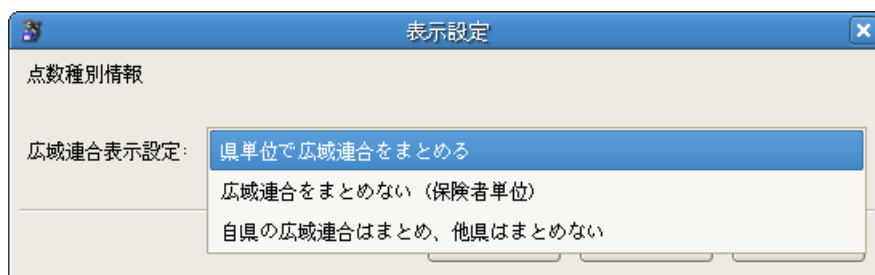
表示設定を変更します。



点数種別情報

[広域連合表示設定]

点数種別情報での広域連合表示を設定できます。



- ・ 県単位で広域連合をまとめる
- ・ 広域連合をまとめない (保険者単位)
- ・ 自県の広域連合はまとめ、他県はまとめない

通常は[県単位で広域連合をまとめる]が選択されています。

・ DB 設定 (Ctrl + D)

傷病名、診療行為、保険者のマスタを読み込むための接続設定します。
ORCA の DB を利用するので接続に必要な User 名、Password を設定します。



Host: 接続先のホスト名か IP アドレスを入力します。
Port 番号を指定するときは、“:” で区切ります。

例: localhost:9301

User: 接続に利用する日レセで利用しているユーザ名を指定します。

Pass: 日レセで利用しているパスワードを指定します。(パスワードが必要な時のみ)

※glauthでの認証を利用するので、日レセに接続する時の ID、PASSWORD を使用
しています。

panda: 接続する panda-server のバージョンを指定します。

現在 panda-server が 1.4.3 以降を指定してください。

1.4.3 未満のバージョンが指定される場合は、1.4.3 と設定されます。

接続Test: このボタンを押すと、上記の設定で接続が出来るかチェックを行ないます。

ボタン右横のテキスト欄に接続結果が表示されます。

・接続テスト結果のメッセージ

“接続成功 DB:040000-1” の場合は `jma-receview-server` に接続でき、
テーブルを参照することが出来た。

DB:040000-1 となっていますが、これは接続先 ORCADB のバージョンです。

[接続先の `receview-server` の起動を確認してください]

[接続先のポート番号を確認してください]

[`panda version error`]

[`authentication error`]

[不明なエラーが発生しました]

`iptables` など遮断されている場合は、タイムアウトになるまでフリーズした
ような動作を起こすことがあります。

また、エラー情報は実行したユーザの `~/receview/dbs.log` に記録もされます。
これは `jma-receview` が書き出す情報です。

例 1 :

```
Tue, 30 Jan 2007 11:26:12 +0900
```

```
version
```

例 2 :

```
Tue, 30 Jan 2007 11:26:20 +0900
```

```
authentication
```

例 1 では `panda` の `version` エラーが発生しています。

`panda-server` のバージョン確認方法

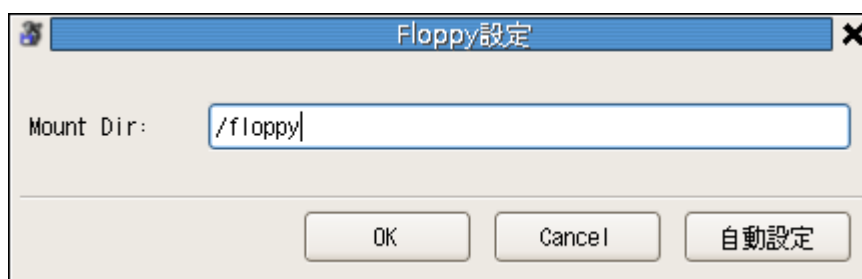
```
$ dpkg -l panda-server
```

```
ii panda-server 1.4.3-0+3jma1 OLTP monitor and client server GUI(server)
```

上記の例では `panda` の `version` は “1.2.11” となります。

例2では `glauth` の認証でエラーが出ています。

・ Floppy 設定 (Ctrl + I)



マウントされるディレクトリを指定します。
指定がない場合は “/floppy” が入ります。

[自動設定]ボタンを押すと、 `/etc/fstab` から設定を読み込めます。
自動設定は目安として使っていただければよいです。

ここで指定したディレクトリに対してマウントコマンドを使います。

例:

Mount Dir が `/media/floppy0` の場合
“`mount /media/floppy0`” が実行されます。

※ automount 機能を有効にしてある場合は、マウントをおこないません。

・ フォント設定 (Ctrl + R)



基本Font: メインで全体のフォントです。内容詳細項目などの表示に利用します。

その他Font: 総件数、総点数を表示するときに利用します。

データが極端に小さく表示される場合は、この項目をチェックしてください。

2. 1. 5 ヘルプ

・ About (Ctrl + A)

このプログラムの情報を表示します。



2. 2 種別点数情報ビュー

国保提出データの表示

保険者番号	レセプト種別	公費種別	診療年月	件数	合計点数	内訳
▼ 文京区(特別区) [138057]				1	903	
	医療単独 本人 入院外		H20.01	1	903	

国保連合会提出データの表示時は保険者番号ごとに分類し、さらにレセプト種別ごとに分類しツリー表示を行います。また、診療年月別によって、点数、件数を表示します。

支払基金提出データの表示

保険者番号	レセプト種別	公費種別	診療年月	件数	合計点数	内訳
	医保単独 本人 入院外		H19.02	2	1,669	

レセプト種別ごとに分類し、さらに診療年月ごとに分類します。
また、公費が含まれる場合は公費の種類別に表示します。

- ・ 診療年月
診療年月を表示します。
- ・ レセプト種別
レセプト種別情報を表示します。
- ・ 公費種別
国保データ表示時に、公費の種類別を表示します。
[特定疾患(51)]

- ・ 診療年月
診療年月を表示します。
[H16.12]

- ・ 件数
件数を表示します。

- ・ 合計点数
合計の点数を表示します。

- ・ 内訳
内訳の点数を表示します。

2. 3 医療機関,患者情報ビュー

医療機関情報の表示

- ・ 医療支払機関
- ・ 都道府県
- ・ 医療機関コード
- ・ 診療科
- ・ 医療機関名称
- ・ 請求年月
- ・ VOL

The screenshot shows the 'レセプトビューア' (Receipt Viewer) application window. The title bar indicates the patient information: 'レセプトビューア 合計件数: 1 合計点数: 993 [国保連合会, 東京都, 1234567, なし, オルカ医院, H19.12.00]'. The main window is divided into several sections:

- 種別点数情報** (Type Point Information): Includes '審査支払機関' (Review Payment Agency), '都道府県' (Prefecture), '医療機関コード' (Medical Institution Code), '診療科' (Department), and '医療機関名称' (Medical Institution Name).
- 医療機関 / 患者情報** (Medical Institution / Patient Information): A tree view showing the selection of '国保連合会' (National Health Insurance Association) and 'オルカ医院' (Orca Hospital).
- レセプトコード** (Receipt Code): A section for entering receipt details.
- 診療年月日レセプト種別** (Treatment Date Receipt Type): Fields for '患者番号' (Patient No.), 'レセプト番号' (Receipt No.), '名前' (Name), '性別' (Gender), '年齢' (Age), '生年月日' (Date of Birth), '保険者番号' (Insurer No.), '記号' (Symbol), and '番号' (No.).
- 主 | 傷病名 | 診療開始日** (Main | Injury Name | Treatment Start Date): A table with columns for '実日数' (Actual Days), '請求点' (Request Points), and '一部負担金' (Partial Payment).
- 転帰** (Outcome): A table with columns for '保険' (Insurance), '公1' (Public 1), and '公2' (Public 2).
- 識別 真 | 診療行為 | 数量** (Identification True | Treatment Act | Quantity): A table with a column for '点数×回数' (Points × Times).

審査支払機関ごとに表示され、その下にツリーとして医療機関情報、患者一覧が表示されます。

- ・ 審査支払機関
支払基金、国保連合会を表示します。
- ・ 都道府県
都道府県を表示します。
- ・ 医療機関コード
医療機関コードを表示します。
- ・ 診療科
旧総合病院データの場合、診療科コードを表示します。
旧総合病院以外の場合は「なし」と表示されます。
- ・ 医療機関名称
医療機関名称を表示します。
- ・ 請求年月
請求年月を表示します。
- ・ VOL
マルチボリュームデータの番号を表示します。

患者情報の表示

医療機関情報ビューのツリー下にある患者一覧で、選択された患者の詳細データを表示します。

The screenshot shows a software window titled "レセ電ビューア" (Resepi Viewer) with a status bar indicating "合計件数: 1" (Total cases: 1) and "合計点数: 903" (Total points: 903). The main window is divided into several sections:

- 種別点数情報** (Category Point Information): Includes "審査支払機関" (Review/Payment Agency) as "国保連合会" (National Health Insurance Union), "都道府県" (Prefecture) as "東京都" (Tokyo), "医療機関コード" (Medical Institution Code) as "1234567", "診療科" (Department) as "なし" (None), and "医療機関名称" (Medical Institution Name) as "オルカ医院" (Orca Hospital).
- 医療機関 / 患者情報** (Medical Institution / Patient Information): A tree view showing "IR 医療機関情報" (IR Medical Institution Information) and "RE レセプト番号" (RE Receipt Number) with sub-entries for "患者番号" (Patient Number) and "氏名" (Name).
- 患者詳細** (Patient Details): A table showing patient information for "1" (Patient No.), "45719" (Patient No.), "テスト" (Test) (Name), and "カンジャ" (Kanja) (Surname).
- 診療情報** (Treatment Information): A table showing "主 傷病名" (Main Injury/Disease Name) as "胃潰瘍の疑い" (Suspected gastric ulcer) and "感冒" (Cold), "診療開始日" (Treatment Start Date) as "平成20年1月1日" (Jan 1, 2008) and "平成20年1月2日" (Jan 2, 2008), and "転帰" (Disposition) as "継続" (Continued).
- 保険情報** (Insurance Information): A table showing "実日数" (Actual Days) as "3日", "請求点" (Request Points) as "903", and "一部負担金" (Partial Payment) as "-".
- 診療行為** (Treatment Procedures): A table showing "識別" (Identification) as "11 1", "診療行為" (Treatment Procedure) as "初診" (First Visit), "数量" (Quantity) as "1", and "点数×回数" (Points × Frequency) as "273 x 1". Other procedures include "電子化加算" (Electronic Billing Addition), "再診(病院)" (Re-visit (Hospital)), "外来管理加算" (Outpatient Management Addition), "静脈内注射" (Intravenous Injection), "創傷処置4" (Wound Treatment 4), "BIL/総" (BIL/Total), "BIL/直" (BIL/Direct), "TP" (TP), and "Alb" (Alb).

患者一覧

- ・チェック状態
- ・レセプト番号
- ・患者番号
- ・氏名
- ・診療科

この項目の診療科は、主科設定されている場合に、その患者のレセ電診療科を表示します。

患者詳細

- ・ 診療年月
診療年月を和暦表示します。
- ・ レセプト種別
レセ電データに記録された4桁のレセプト種別情報を表示します。特記事項が記録されている場合には、その内容も表示を行います。
例：記録内容が1141 の場合
医科 医保 単独 本人入院外
- ・ 患者番号
患者番号を表示します。
- ・ レセプト番号
システムで附番された通し番号を表示します。
- ・ 名前
患者の名前を表示します。
- ・ 性別
患者の性別を[男][女]で表示します。
- ・ 年齢
患者の年齢を表示します。
但し、基準日を診療年月の末日としているため、診療月と誕生月が同じ場合は、正しく表示されない場合があります。
この場合は、[20歳]を[*20歳]と表示します。
- ・ 生年月日
患者の生年月日を和暦表示します。
- ・ 保険者番号
保険者番号を表示します。
- ・ 記号
被保険者証の記号を表示します。
- ・ 番号
被保険者証の番号を表示します。
- ・ 市町村
老人保健医療受給者証の市町村番号を表示します。
- ・ 老人受
老人保健医療受給者証の受給者番号を表示します。

- ・ 公負 1
第一公費の負担者番号を表示します。
- ・ 公受 1
第一公費の受給者番号を表示します。
- ・ 公負 2
第二公費の負担者番号を表示します。
- ・ 公受 2
第二公費の受給者番号を表示します。
- ・ 公負 3
第三公費の負担者番号を表示します。
- ・ 公受 3
第三公費の受給者番号を表示します。
- ・ 公負 4
第四公費の負担者番号を表示します。
- ・ 公受 4
第四公費の受給者番号を表示します。

※但し該当患者が第 3 公費、第 4 公費を持たない場合は、この欄は表示しません。

- ・ 主
主傷病である場合に“○”を表示します。
- ・ 傷病名
傷病名を表示します。
傷病名コードを DB の病名マスタより変換表示しています。
- ・ 診療開始日
保険診療を開始した年月日を表示します。
- ・ 転帰
転帰区分を表示します。

※傷病名, 診療開始日, 転帰

上記 3 つの傷病名, 診療開始日, 転帰は同じリストで表示されます。

例：不眠症 平成19年2月1日 継続

・ 診療実日数、請求点、一部負担金

各種保険の情報を表示します。

例：[保険]	2日	8341	-
[公1]	-	-	-
[公2]	-	-	-

[保険]

医療保険、国民健康保険、老人保健又は退職者医療の診療実日数、請求点、一部負担金を表示します。

[公1]

第一公費の診療実日数、請求点、一部負担金を表示します。

[公2]

第二公費の診療実日数、請求点、一部負担金を表示します。

[公3]

第三公費の診療実日数、請求点、一部負担金を表示します。

[公4]

第四公費の診療実日数、請求点、一部負担金を表示します。

[保険][公1][公2][公3][公4]のボタンをクリックすると対応した実コードをコードビューに表示されます。

・ 識別

診療識別コードを表示します。

・ 負

負担区分を表示します。

・ 診療行為

診療行為情報を表示します。

・ 数量

薬剤、器材等の数量を表示します。

例：	識別	負	診療行為	数量	点数 × 回数
	11	1	初診		
			電子化加算		273 × 1

※マスタに存在しない場合は名称の取得ができない為、コードで表示されます。

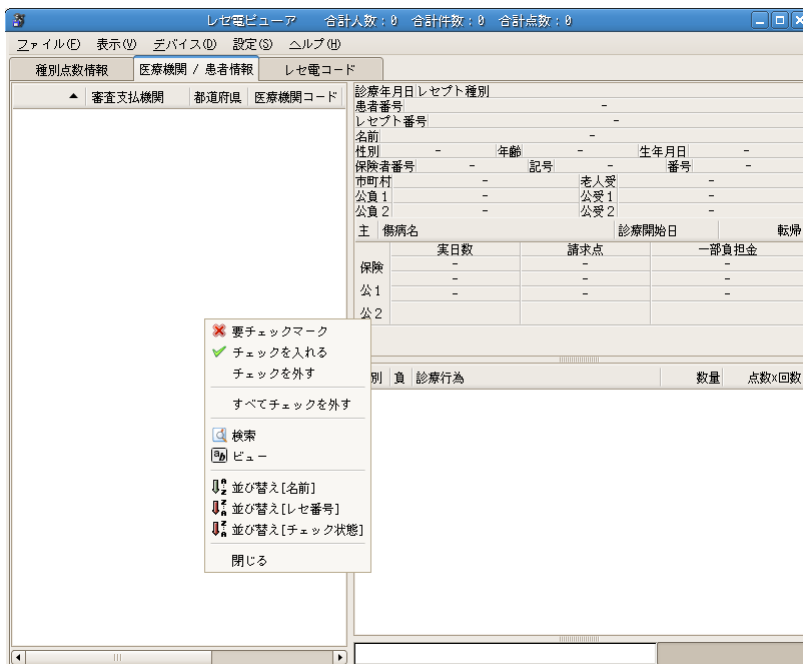
- ・コードビュー

現在選択されている項目の記録データが表示されます。

また、タイトルバーにも同じ内容が表示されます。

2. 5 その他

・ポップアップメニュー



患者情報ビューを左クリックするとポップアップメニューが表示されます。
メニューから選択できる項目と同じになります。

- 要チェックマーク
- チェックを入れる
- チェックを外す
- すべてチェックを外す
- 検索
- ビュー
- 並び替え[名前]
- 並び替え[レセ番号]
- 並び替え[チェック状態]
- 閉じる

[閉じる]または、レセ電ビューアの画面内をクリックすると閉じます。

・チェック情報

患者の情報を表示した場合に患者一覧の先頭にチェックマークが付きます。
ポップアップメニューから、チェック状態の変更、削除することができます。

ファイル(F) 表示(V) デバイス(D) 設定(S) ヘルプ(H)				
種別点数情報		医療機関 / 患者情報		レセ電コード
	審査支払機関 ▼	都道府県	医療機関コード	診療科
▼	国保連合会	東京都	1234567	なし
▶	IR 医療機関情報			
▼	RE レセプト番号	患者番号	氏名	
✓	1	00009	テスト	カンジャ
✗	2	00010	テスト	カンジャ2
	3	00011	テスト	カンジャ3

チェック状態を操作する場合は、ポップアップメニューで操作します。

要チェックマーク

[チェックを入れる]、[チェックを外す]を選択しないと、外せない状態にします。

チェックを入れる

要チェックマークを通常のチェックマークに変更します。

チェックを外す

チェックマークの種類に関係無くチェックを外します。

すべてチェックを外す

チェックマークを全て外します。選択後に確認のダイアログが表示されます。